

消防備品類《消防服》
入札参加資格有資格者【岡山県内】

物品購入 見積徴取通知書

このことについて、下記により見積りを徴取しますので通知します。

記

1. 物品購入名称 防火服購入（消防総務課）
2. 規格及び数量 別紙「物品購入仕様書」のとおり
3. 見積提出場所 **真庭市役所財産活用課**
4. 見積提出期限 **令和 8年 5月21日 17時00分 （必着）**
5. 開札予定 **令和 8年 5月22日 9時00分**
6. 納入場所 真庭市消防本部総務課
7. 納入期限 **令和 9年 3月31日**

(1) 規格・仕様等詳細についての質問事項は、令和 8年 5月13日 12時00分までに
メールにて下記担当に問い合わせてください。

消防本部総務課 〔担当〕植田 雅也 〔アドレス〕sohmu_shobo@city.maniwa.lg.jp

(2) 見積書の見積金額については、税抜きで記載すること。

(3) 見積書には内訳書（貴社様式見積書可）を必ず添付すること。

(4) 見積書は封書で提出し、見積物品名・物品番号及び見積書在中と表記してください。

(5) 落札業者決定方法は、最低金額見積業者を落札業者とします。

(6) 本見積徴取の取扱いは「真庭市見積徴取参加心得」(ホームページ掲載)の定めによります。

(7) 本見積結果は、落札者のみに連絡します。結果の公表は、財産活用課窓口で閲覧できます。

(電話での問合せにはお答えできませんのでご了承ください。)

(8) 見積の通知日から落札者の決定する日の間、入札参加資格でない場合の見積書は無効となります。

(支店・営業所は契約を委任されていないと無効となります。)

※ 見積書を提出される場合、普通郵便または持参で可

※ 辞退届を廃止しているため、参加者のみ見積書を提出すること

物品購入仕様書

案件年度 令和8年度 物品番号 073

品 名	防火服購入（消防総務課）	数 量	3 着
形 式 （規格、内容等）	購入物品 防火服 3着 サイズ 落札業者と協議し決定する。 型番指定 「防火服仕様書」記載 納入期限 令和9年3月31日（水） 納入場所 消防本部総務課（真庭市惣254-8） <small>欄が不足する場合、別ファイル（ワード又はエクセル）を添付のこと。</small>		
参 考 型 番		<input type="radio"/> 型番指定 （該当に○をすること） 同等品以上	
型番指定する理由	上記形式の制服を貸与しており、他のメーカーの製品では、形、色、素材が違い、職員間の統制が図れないため。		

防 火 服 (上下型)

防 火 帽 (しころ)

仕 様 書

真庭市消防本部

全体の仕様

形式	上衣	折襟、前中心オープンファスナー、面ファスナー止めアウトフラップ付き、 身頃は3枚はぎ、後身頃はテールドボトム、袖口アジャスター付き、 マチ付き2枚切り替え袖、腰の左右にフラップ付きアウトポケット、 左右胸、両襟内側左右にマイクハンガー付、左右胸無線機入れポケット、両脇にギャザー ゴム、背反射文字熱圧着（シルバー）、要部補強布、左右前身ループ及びDカン付、 後身2箇所ベルトループ、インナーライナー着脱式（保冷剤ポケット3か所付）
	下衣	ベルトループ付、調整ベルト付、裾部分アジャスター付き、要部補強布 サスペンダー付両脇アウトポケット付、膝部分切り替え、 裾脇線ファスナー付、インナーライナー着脱式

1. 使用材料

部品名	規 格 等			
外衣生地	種 類	防炎リップストップ パラ系芳香族ポリアミドの牽切糸を芯にメタ系芳香族ポリアミドをカバ リングした二重構造糸からなる織物。		
	組 織	平織（リップストップ）		
	構成率	メタ系芳香族ポリアミド 73.5% パラ系芳香族ポリアミド 26.0% 導電性繊維 0.5%（標準）	JIS L 1096	
	番 手	(経) 2/32	JIS L 1030	
		(緯) 2/32		
	密 度	(経) 50本/インチ間以上	JIS L 1096	
		(緯) 42本/インチ間以上		
	引っ張り 強 度	(経) 2000N 以上	JIS L 1096	
		(緯) 1800N 以上		
	引裂強力	(経) 220N 以上	JIS L 1096 D 法	
		(緯) 200N 以上		
	染色堅牢度	汗	4級以上	JIS L 0848
			4級以上（40時間）	JIS L 0842
	燃焼性	炭化長	(経) 4cm以下	JIS L 1091 A-4 法
			(緯) 4cm以下	
		(経) 0秒	JIS L 1091 A-4 法	
		(緯) 0秒		
重 量	240g/m ² 標準		JIS L 1096	
ピリング	4級以上 10時間		JIS L 1076 A 法	
色 相	指定色（ネイビー）			
加 工	超撥水加工+帯電防止加工（有機導電繊維織込み）			

内 衣 及び 補 強 材	內衣の構成		上着の內衣は防水層①と防熱層③を組合せ縫製したもの。 ズボンについては表生地と防水層②との組み合わせ縫製したもの。		
	①	種 類	メタ系芳香族ポリアミド 84.5%ウール 15.0%導電性繊維 0.5%の生地の片面に難燃透湿防水フィルムをラミネート。		
		基	組 織	1/1 平織	
			混紡率	メタ系芳香族ポリアミド 84.5% ウール 15.0% 導電性繊維 0.5%	JIS L 1030
		布	耐水圧	500 k p a 以上 JIS L-1092 B法	
			重 量	110 g/m ² 標準 JIS L 1096	
			加 工	難燃透湿防水	
	②	組 織	1/2 綾織		
		基	混紡率	メタ系芳香族ポリアミド 84.5% ウール 15.0% 導電性繊維 0.5%	JIS L 1030
			耐水圧	500 k p a 以上 JIS L-1092 B法	
		布	重 量	250 g/m ² 標準 JIS L 1096	
			加 工	難燃透湿防水	
	③ 上 衣	種 類	変わり織		
		基	組 織	16BOX 変わり織	
			混紡率	メタ系芳香族ポリアミド 84.5% ウール 15.0% 導電性繊維 0.5%	JIS L 1030
		布	番 手	(経) 2/110 (毛番手) (緯) 1/50 (毛番手)	JIS L 1096
			重 量	200 g/m ² 標準 JIS L 1096	
		加 工	帯電防止		
	補 強 生 地	種 類	SMI-アラシールド		
		基	組 織	綾織 (高分子化合物をコーティング)	
混紡率			パラ系芳香族ポリアミド 100% 難燃耐磨耗樹脂加工 (黒色)	JIS L 1030	
布		熱収縮率	60°C (5回洗濯) 縦横共収縮率1%以下 180°C (5分間加熱) 縦横共収縮率1%以下	N F P A 1971-2007 適応	
		耐熱性	180°C (5分間加熱) 熔融しないこと	N F P A 1971-2007 適応	
重 量		450 g/m ² 標準 JIS L 1096			

※上記以外の数値又は規格については ISO11613 : 1999 (アプローチA) (欧州法) 及び消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準ずる事。

*上着については、防火服単体にて、また、ズボンについては、当本部使用の活動ズボンを着用して、ISO11613 : 1999 (アプローチA) 欧州法の規格値を準拠すること。

I. 補助材料：附属品明細

上 衣

部 品 名	規 格	位 置
縫 製 糸	標準縫製糸 同系色 メタ系アラミド繊維	100%
オープン ファスナー	No. 10C S~L 380mm (紺色) 2L~5L 440mm	前中心
面ファスナー	黒色 (難燃) 50mm幅	インナー裾止め、胸無線機ポケット
面ファスナー	黒色 (難燃) 25mm幅	袖口アジャスター ライナー背ポケット、 ライナー前身頃左右ポケット
面ファスナー	黒色 (難燃) 38mm幅	前立て、腰ポケット、フラップ
面ファスナー	黒色 (難燃) 25mm幅 50mm幅	胸フラップ、 襟先、タブ
丸ハトメ穴	シルバーSE300 内径6mm	胸、腰、袖、ポケット袋の底
ドット釦	シルバーBB7050 15mm	左前ループ
反射材 トランスファーフィルム	3M #5687 蛍光イエロ 76mm幅	全仕様
オープン ファスナー	No. 5C 全サイズ共通 赤色 1550mm	ライナー
袖口リブ	紺色	ダブル袖口の内側
緩衝材	フェルト C-22	左右の肩、肘、背
バイアステープ	フラット 紺色 40mm幅	ライナーの裾、前
D カ ン	ブラック LH 内径40mm	ベルトループ下
ゴ ム	黒色 オペロン 50mm幅 白色 オペロン 15mm幅	両脇 内袖口
PPテープ	黒色 10mm幅 38mm幅	左右胸ポケットの内側 ベルトループ下
芯 地	接着芯	腰フラップ、マイクハンガー
補強布	アラシールド 黒色	左右：肩部、肘

	片 布		指定位置
	サイズ表示		指定位置
	警告ラベル 及び絵表示		指定位置
	背反射文字	3M トランスファーフィルム #5807 シルバー	背指定位置
	織 マーク		後ろ襟ぐり見返し
	止水テープ	FU700 白色 20mm幅	ライナー透湿防水層側 地縫いステッチ線

ズ ボ ン

部 品 名	規 格	位 置
縫 製 糸	標準縫製糸 同系色 メタ系アラミド繊維 100%	
ファスナー止	No. 5C (紺色) 共通 300mm	脇線裾
ファスナー止	No. 5C (紺色) S~L 180mm 2L~4L 200mm	前立て
面ファスナー	黒色 (難燃) 25mm幅	前立て、ライナー前端
面ファスナー	黒色 (難燃) 50mm幅	裾部アジャスター
面ファスナー	黒色 (難燃) 38mm幅	脇フラップ、アウトポケット
面ファスナー	黒色 (難燃) 25mm幅	ウエスト調節ベルト
バックル	月カン 内径 40mm	ウエスト調製ベルト
PPテープ	黒色 38mm幅 25mm幅	ウエスト調節ベルト ウエスト後中心内側
テープ	白色 28mm幅	ドット釦止め用ライナー裾
PPテープ	赤色 38mm幅	ウエスト調節ベルト月カン

ドット釦	シルバーBB7050	15mm	腰ベルト、裾脇ライナー、前中心
丸ハトメ穴	シルバーSE300	内径6mm	ポケット底
オープンファスナー	5CN 赤		ライナー腰取り付け
反射材 トランスファーフィルム	3M #5687 蛍光イエロー	76mm幅	指定位置
緩衝材	フェルト C-22		膝
芯地	接着芯		腰ベルト、フラップ
バイアステープ	フラット 紺色	40mm幅	ライナー裾、脇部、腰周り
サスペンダー用金具	シルバー金具	内径50mm	サスペンダー
リベット	シルバー	直径8mm	サスペンダーのループ
角カン	黒色 LK50EK	内径50mm	サスペンダー吊り
止水テープ	FU700 白色	20mm幅	ライナー透湿防水層側
補強布	アラシールド	黒色	膝部、アウトポケット下部
織マーク			指定位置
サイズ表示			指定位置
絵表示			指定位置
片布			指定位置
警告ラベル			指定位置

Ⅱ. サイズ表

(出来上がり寸法 単位：cm)

部 位 号 数	着 丈	胸 囲	肩 幅	袖 丈	袖 口
S	76	117	51	53	30
M	79	122	52	55	31
L	82	127	53	57	32
L L	85	132	54	59	33
3 L	88	137	55	61	34
4 L	91	142	56	63	35
5 L	94	147	57	65	36

(出来上がり寸法 単位：cm)

部 位		総 丈	股 下	股 上	腰 回 り
サイズ					
S	AA	91	62	29	65～75
	A	95	66		
	B	99	70		
	C	103	74		
M	AA	92	62	30	75～85
	A	96	66		
	B	100	70		
	C	104	74		
L	AA	93	62	31	85～95
	A	97	66		
	B	101	70		
	C	105	74		
L L	D	109	78	32	95～105
	A	98	66		
	B	102	70		
	C	106	74		
	D	110	78		

3 L	A	99	66	33	105~115
	B	103	70		
	C	107	74		
	D	111	78		
4 L	A	100	66	34	115~125
	B	104	70		
	C	108	74		
	D	112	78		

Ⅲ. 縫製の条件

1. 一般

- ア. 各部の縫い合わせは、上下糸のつれ、たるみのないこと。
- イ. 縫い飛び、縫いはずれのないこと。
- ウ. 縫い目曲がり、縫いつぎが目立たないこと。
- エ. 飾り縫い等による、ねじれじわのないこと。又、パッカリングを出さないこと。
- オ. 縫い始め、縫い終わりは返し縫い、及び縫い止めを完全にすること。
- カ. 門止め、附属類の位置が正常であること。

2. 上 衣 (外 衣)

A. 襟

- ア. 表裏に表地を使用し、襟の中に透湿防水層を挟み水の浸入を防ぐ構造とする。
- イ. 地襟側に強度を保つため、ジグザグステッチを掛ける。
- ウ. 襟裏面に2カ所面ファスナーを付ける。
- エ. 左右襟元表側にマイクホルダーを取り付ける。

B. 襟タブ

- ア. 襟の前中心にあご、首などの保護に襟タブを取り付ける。タブの周囲に6mm幅のステッチをかけ、タブ角の両面に面ファスナーを付ける。

C. 前身頃

- ア. 左右各 1 枚裁ちとし、前中心はオープンファスナー止めとする。
- イ. ファスナーの上、更におおい布を付ける。おおい布の中に透湿防水層を入れ、水の浸入を防ぐ構造とし、面ファスナー止めとする。
- ウ. 右前面ファスナー下端部分に、ファスナー破損防止と、開閉しやすくするための、持ち出し布を付ける。

D. 肩ヨーク

- ア. 肩部分に肩胛骨を守る構造とし表生地と補強布を 2 枚重ね、ダブルステッチで縫着する。

E. マイク ハンガー

- ア. 前中心のおおい布を挟んで左右の胸に各 1 個付ける。
 - 幅 20mm、長さ 65mmとし、身頃裏側に力布を当て上下端は、コバステッチをかけ左右の端を 3mmと 6mmのダブルステッチで押さえ縫いする。
- イ. 上部の両端に閉止めをする。

F. 左右胸ポケット

- ア. フラップは3枚に切離し、アンテナが出る構造とし面ファスナー止めとする。
- イ. アウトポケットの周囲に、幅45mmのマチをつけ、底に水抜き用のハトメ穴1個を設ける。ポケット口より少し下がった身頃側にPPテープ(黒)幅10mm、長さ45mmを付ける。
- ウ. ポケット口の両端に閉止めをする。

G. ループ (左前身頃)

- ア. 幅50mm、長さ220mmとし、周囲に6mm幅ステッチをかける。
裏側に力布を当て、長さ100mmを身頃付け位置に付け、半分を上へ折り上げドット釦2個で止める。上下縫い付け箇所の両端に閉止めをする。
下端にはPPテープの、黒38mm幅をループにし、黒Dカンを取り付け押さえ縫いする。
(右前身頃)
- イ. 裏側に力布を当て、幅50mm、両端に6mm幅ステッチをかけ、長さ90mm(内径75mm)とし、上部は地縫いと折り曲げ、中縫いをし、下端にDカン取り付けループを挟み、ダブルステッチで押さえる。両端に閉止めをする。

H. サイド ポケット

- ア. 左右の前身頃裾にフラップ付き、両サイドマチ付アウトポケットを付け、面ファスナー止めとする。
- イ. アウトポケットの底部には水抜き用ハトメを2箇所設ける。
- ウ. フラップ付け両端とポケット口の両端に閉止めをする。

I. 脇ゴム

- ア. 両脇、ウエスト位置の身頃裏側にギャザーゴムを取り付け、着用性がよくなる構造とする。

J. 袖

- ア. マチ付き2枚切り替え袖とし、袖山、袖下の袖付け部一周にマチを付け腕の動き易い形状とする。
切り替え線部分には、6mm幅ステッチをかける。
- イ. 袖口内側に、水の浸入を防ぐ透湿防水布でダブルの袖口とする。
- ウ. 表袖口には、アジャスターベルトを取り付ける。
- エ. 肘部分に補強布をダブルステッチで縫着する。

K. 後身頃

- ア. 裾はテールドボトム型とし、6mm幅のステッチで押さえる。
脇線の裾、身頃のつなぎ目は返し縫いを充分にかける。

L. 襟づくり

- ア. 襟づくりの後ろ中心に共地の襟づくりを強固に縫い付け、襟吊り幅分のみ襟縫い代側に閉止めする。幅の両端にコバステッチをかける。

M. 反射材（トランスファーフィルム）

- ア. 反射材の取り付け位置は、前身頃裾、ポケット下部、胸部、袖口、後身頃裾、及び背に付ける。（図参照）
- イ. 幅76mmとし、各部途中で継ぎ目のないものを使用する。

N. 背文字

- ア. 背部には、指定文字をシルバーにてプリントする。

3. 上 衣（内 衣）

透湿防水層面、縫い目の裏面には必要な部分全てに止水テープを貼る。

A. 前身頃

- ア. 左右前身頃、後身頃各1枚肩ヨークの5枚裁ちとし、外側に透湿防水層、内側に防熱層を合わせライナー取り付け用箇所襟ぐり前端、裾にバイアステープ始末をする。
- イ. バイアステープ始末をした前端と襟ぐりにライナー取り付け用のオープンファスナー1本を付ける。
- ウ. 防熱層面のアームホール下にアウトポケットを取り付ける。ポケット口は前中心側とし、面ファスナー止めとする。

B. 後身頃

- ア. 前後身頃、3枚裁ちとし、外側に透湿防水層、内側に防熱層を合わせる。
- イ. 後身頃防熱層側上部の裏面に緩衝材を挿入し、ステッチで押さえ背中を守る構造とする。
- ウ. 後中心防熱層面にアウトポケットを取り付け、ポケット口は面ファスナー止めとする。

C. 裾

- ア. 透湿防水層と防熱層を合わせ、バイアステープ始末とする。
- イ. 後身頃の裾はスクエア型とし、後中心を面ファスナー止めとする。

D. 袖

- ア. マチ付き2枚切り替えとし、ハギ合わせコバステッチ又は、6mmステッチで押さえ、透湿防水層と防熱層を合わせる。
- イ. 透湿防水層側の袖口にリブを付け、面ファスナー止めとする。

E. オープン ファスナー

- ア. インナー着脱式とし、前身頃見返し端とインナーの前端を合わせる。
- イ. ファスナーのスライダーは、左前見返し側に取り付ける。

F. 表示

- ア. サイズ表示、絵表示、警告ラベル、片布を指定位置に付ける。

4. スポーン (外衣)

A. 前身頃

- ア. 股上部の小股から脇線上部にかけて切り替え、前部の余りを取ることで屈伸を容易にする。

B. 股部

- ア. 長方形のマチを入れた構造とする。

C. 腰ベルト

- ア. ベルト幅60mmとし、内側には透湿防水層を入れる。
- イ. 左上前になるように前端は面ファスナーでとめ、更に前中心をドット釦1個を打ち、ウエストをとめる。

D. ベルト通し

- ア. 前身の左右に各1本、後身頃の左右に各2本の計6本を取り付ける。
- イ. 幅25mm、長さ70mm（内径65mm）ベルト通しの上部は地縫いと折り曲げ中縫いをし、内側の両端に罫留めをする。下部はダブルステッチで表から押さえ縫いをし、返し縫いを3回以上とする。

E. 前立て

- ア. 左上前に持ち出しを付け、中には透湿防水層を芯地として入れ、25mm幅面ファスナー止めとする。
- イ. 前立てあき止まり位置に罫止めをする。
- ウ. 前中心はファスナーあきとする。

F. 膝

- ア. 前膝部分を切り替え補強布、表生地、フェルト（緩衝材）表生地の4枚重ねとしクロスステッチで強固にする。
- イ. 前膝下部分をUの字型に切り替える。
- ウ. 前膝を曲げやすくする為に、後膝位置を切り替える。切り替え部分にコバステッチをかける。

G. 脇ファスナー

- ア. 両脇線の膝から裾までファスナーあきとする。
- イ. ファスナーあきの（後ろ脇側）下側には、水の浸入を防ぐ持ち出し布に防水層を入れる。

H. 後身頃

- ア. 後身頃上部に尻線から脇にかけて切り替え、後中心の割り部と尻廻り部分はゆとりある構造とする。

I. 脇アウトポケット

- ア. 両脇にフラップ付きアウトポケットを付ける。後ろ側のみマチ付きとする。
フラップは、芯入りとし面ファスナー止めとし、周囲に6mm幅ステッチをかける。
- イ. アウトポケットの下部は、表生地と補強布の2枚重ねとし、水抜き用ハトメ穴を1個取り付ける。後ろ側のみ幅55mmのマチ付きとし、ポケット口両端には閉止めをする。

J. 反射材（トランスファーフィルム）

- ア. 幅76mmで各部とも途中で継ぎ目のないものを使用する。
- イ. 反射材の付け位置は裾に1本付ける。

K. 裾アジャスター

- ア. 裾部分には面ファスナーにて、サイズ調整可能なアジャスターを付ける。

L. ウエスト調節ベルトテープ

- ア. 前身頃前中心辺りにテープを部分縫い付け、後身頃中心部にテープを部分縫い付け。
両端に月カン各2個を取り付け、前身頃テープを通し調整可能とする。
- イ. 後中心ベルトループ幅の中で、テープが動かないように幅分のみ縫い止める。

M. サスペンダーループ

- ア. 共生地でサスペンダー付けループをズボン前後4箇所に取り付ける。

N. 表示

- 織マーク、サイズ表示、絵表示、警告ラベル、片布は指定位置に取り付ける。

5.ズボン(内 衣)

透湿防水層面、縫い目の裏面には全て止水テープを貼る。

A. 腰回り

ア. インナーの前後身頃は別々に縫い合わせておく。

イ. インナー腰部は、オープンファスナー着脱式とし、外衣ベルト見返しに縫い付ける。

B. 前立て

ア. 前立て裏部にインナーを面ファスナー止めとする。

C. 膝

ア. 透湿防水層共に脇線、内股線側からふくらみを付けた構造とする。

イ. 後ろ膝裏位置は切り替え、コバステッチをかける。

D. 裾・脇あき

ア. 脇部ファスナー裏は、3箇所をドット釦止めとする。

E. 表示

ア. サイズ表示、絵表示、警告ラベル、片布は指定位置に取りつける。

F. その他の注意事項

ア. 本仕様書における規格要求値及び縫製仕様等については、全ての項目・仕様において満足するものとし、要求値の満たない部分や、構成・縫製仕様等の変更は認めない事とする。また、産業財産権に抵触する等の問題が生じた場合は、受注者側において、それらの問題を解決するものとする。

イ. 同一年度内で購入する場合の単価は、本契約単価とする。



